

令和6年度文学部「文学部・文学系6年一貫教育プログラム」出願要項

6年一貫教育プログラムは、4年（学部）+2年（大学院博士前期課程）の6年間で切れ目なく柔軟に活用し、通常の課程では難しい長期的な研究や、留学・インターンシップなどにチャレンジするコースです。広い視野をもち主体的に行動できる力を鍛え、グローバル社会で活躍しようという意欲をもつ女性をはぐくむことを目的として、平成29年度入学生から導入されました。

学部生の中に大学院の科目を先行履修でき、長期留学やインターンシップ、長期にわたるリサーチなどが卒業・修了単位として認められるなど、自由度の高い学修を設計することを可能にします。

1. 定 員 若干名

2. 出願資格

3年次前期終了時点で74単位（外国語科目16単位、保健体育科目2単位、情報処理科目2単位、教養科目群18単位からなる「教養教育科目」38単位を含む）以上を修得していることを要件とする。ただし、子ども教育専修プログラムを履修している場合には、第3年次前期終了時点で74単位（外国語科目16単位、保健体育科目2単位、情報処理科目2単位、教養科目群10単位からなる「教養教育科目」30単位を含む）以上を修得していることを要件とする。なお、出願に必要な単位を修得見込みで出願し、3年次前期終了時点で単位が修得できなかった場合は、合格が取り消しとなる。

※3年次編入学生は、このプログラムには応募できない。

3. 出願手続き

(1) 出願期間

令和6年6月21日（金）～令和6年6月28日（金）受付時間 8時30分～17時00分

(2) 出願書類

①「文学部・文学系6年一貫教育プログラム」申請書：3部

②特別研究履修計画書（概要） 3部

※Campusmate-Jの各種資料一覧からワードファイルのダウンロードできます。

(3) 出願方法

①提出先：学務課文学部係

②提出方法：出願期間内に出願書類を一括し、持参により提出すること。

4. 選抜方法

書類審査（「文学部・文学系6年一貫教育プログラム」申請書及び「特別研究履修計画書（概要）」）と面接の結果を総合して合否を決定する。

（注）大学院人間文化総合科学研究科への進学は、推薦入試による選考が行われる。（検定料・入学料要）

5. 選抜試験の日時・試験会場

各コースの教員より通知される。

6. 履修資格者発表

令和6年7月26日（金） 文学部掲示板

7. 4年次の履修について

(1) 学部研究論文

学士の資格認定のために「学部研究論文演習A・B」を履修し、卒業論文と同時期に「学部研究論文」を提出すること。

ただし、4年次から留学を予定している者は、留学前に提出すること。

【参考：令和6年度学部研究論文提出日程】（卒業論文提出日程に準ずる）

題目提出期限・・・11月7日（木）

論文提出期限・・・1月9日（木）

(2) 大学院科目先行履修

プログラム生は、年間の履修上限以外に4年次から先行履修用の専門科目として指定された大学院科目を10単位まで履修することができる。修得した単位は博士前期課程進学後に認定され、修士修了要件単位として認められる。（他コースの先行履修科目を履修することも可）

8. プログラム専用科目「特別研究」について

学部段階から修士論文までを見通して、自らの学修を設計するためのプログラム生専用の科目で、必修（2単位以上）である。

- ・「特別研究」としての履修単位の取得は、学士課程においては16単位、博士前期課程においては8単位を上限とする。取得した単位は学部卒業要件／修士修了要件に含まれる。

（注）特別研究は履修登録上限に含まれる

- ・「特別研究」には以下の3種類があり、複数組み合わせることもできる。

①「特別研究【長期海外】」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ 各4単位（各科目およそ3ヵ月とする）

- ・3か月、半年、1年の留学中に行う研究や海外での長期にわたるリサーチ、フィールドワーク、インターンシップ、その他研究に関連した活動。
- ・交流協定校以外の個人留学でも可。
- ・「論文演習／演習指導」の登録・履修可。インターネット等を活用して、「論文演習／演習指導」を受講することができる。

②「特別研究【長期国内】」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ 各4単位（各科目およそ3ヵ月とする）

- ・通学不能な、3か月～1年以内の国内での長期にわたるリサーチやフィールドワーク、インターンシップ、滞在型調査、その他研究に関連した活動。
- ・「論文演習／演習指導」の登録・履修可。インターネット等を活用して、「論文演習／演習指導」を受講することができる。

③「特別研究【不定期】」A（リサーチ）、B（フィールドワーク）、C（インターンシップ）、
D（その他） 各2単位

- ・学期中または休業中での国内または国外でのリサーチやフィールドワーク、インターンシップ、その他研究に関連した活動。
- ・他の科目の履修は可能。ただし、「特別研究」を理由に公欠にはならない。

※特別研究の学修設計（具体例）について専門教育ガイド p.37 に記載あり。

●「特別研究」手続き等 ●

- (1) 履修に先立って、「特別研究履修計画書」を提出する。

提出期日：

原則、学期初め（4・10月）の月末まで

ただし、特別な事情がある場合には、別途提出期限を定める。

作成時の注意：

- ・履修する科目に対して「特別研究履修計画書」は開始から終了までを一つにして作成すること
- ・記入内容については、「特別研究履修計画書」内に留意点が示されているので従うこと

- (2) 特別研究が終了したら、「特別研究報告書」を提出する。

提出期日：

原則、実施期間が終了した日から1か月以内

作成時の注意：

- ・記入内容については、「特別研究報告書」内に留意点が示されているので従うこと

●「特別研究」に関わる注意事項 ●

- (1) 海外で履修取得した専門科目の単位は、本学の規程に沿って単位認定が可能な場合がある。
- (2) 特別研究【長期海外】を履修するプログラム生は、交流協定校への留学を除き、留学先や滞在先の選択や付随する手続きは自身で行う。
- (3) 「特別研究【長期国内】」「特別研究【不定期】」を履修するプログラム生は、リサーチやフィールドワーク、研究インターンシップにおける受け入れ先との交渉は、原則自身で行う。
- (4) 「その他研究に関連した活動」には各種ボランティアや災害復興支援活動等が含まれるが、研究計画に位置付けられるものであること。

9. プログラム特別奨学制度（概要）

プログラム生として選抜された時点のGPA上位10位までの者に、大学院人間文化総合科学研究科入学後に、出願にかかる検定料及び入学金相当額を奨学金として支給する。